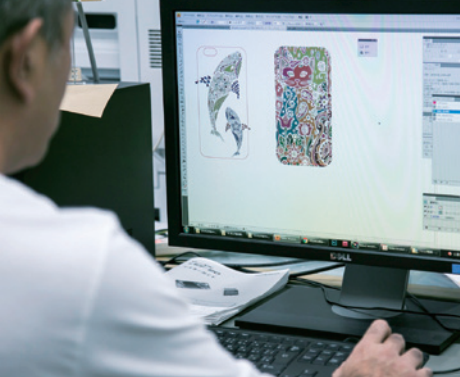


Q1

宮崎初のサービスを行っているそうですね？

A コンビニスタイルの気軽に利用できる店舗（ぶりんと本舗）を立ち上げました。A3が1枚20円のセルフコピー、1枚からのポスター印刷にラミネート加工など、便利なサービスをたくさん揃えています。

Q2

御社の強みは？

A デザイナーの確保と育成に力を入れていて、20名以上のデザイナーが在籍中です。プライダルや不動産業、官公庁など、それぞれの分野が得意なスペシャリストを配置しています。

〈代表取締役〉

田中 賢一
たなか けんいち

〔座右の銘〕

為せば成る

Q3

今後の展望は？

A 印刷を通して地元や環境にも貢献し、地元の間伐材を使ってお客さんと一緒にアイデアいっぱいの商品を作っていきたいです。



さらに、素材を目的の形状に切断・彫刻、型抜き加工することができるようになりました。この二つの新しい機械と本社が有していた高いデザイン力が相乗効果を生み、商品の独自性や創造性を発揮できるようになりました。

「二つの機械を導入したことでもさまざまな発想が生まれるようになり、お客様へ新しい提案をする強力なツールになっています。既存のノウハウと組み合わせることで表現の幅が一気に広がったと、デザイナーの意欲も出てきました。お客様にもっと満足していただきたいですし、他社との差別化も図っていききたいですね」



Case

14

総合印刷

株式会社 都城印刷（ぶりんと本舗）

〒885-0055 宮崎県都城市早鈴町1618番地 TEL0986-22-4392



環境を整えたことで商品開発のアイデアが広がりました

デ

ザイン、印刷、製本と一貫して行う総合印刷だけでなく、Tシャツプリント、オリジナルグッズなど、多岐にわたる印刷と紙面などの加工を行う同社。しかし、田中社長は、平面への印刷だけでは顧客のニーズに応えられず、商品開発にも限界を感じていました。

「かつてお客様からサイロ状の木材に、各面2か月ずつのカレンダーを印刷して、立方体カレンダーを作れないかと相談されたのですが、当時の我が社には対応できる機械がなく仕方なくお断りしたことがあったんです。多様化する顧客のニーズに対応するには、さまざまな素材や立体物にも印刷できる環境がないといけないと痛感しました。その解決策としてUVプリンターを導入しようと思ったんです」

新

たに導入したUVプリンターによって、木材やゴルフボール、アルミ

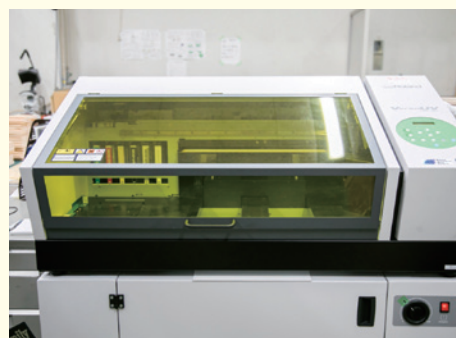
株式会社 都城印刷

立体物印刷ニーズに
応える
専門業者のプライド

お客様からの問い合わせが多い立体物への印刷。その新しい分野にチャレンジするために、UVプリンターとレーザー彫刻機を導入し設備を整えました。



ものづくり補助金活用 ここがポイント

UVプリンター導入で
アイデアが広がり生産量増加

さまざまな素材の立体物に高画質で印刷ができるので、これまで対応できなかった顧客の要望にも応えられるようになり、他社との差別化・競争力の強化を実現しました。

複合板など、さまざまな素材や形への直接印刷が可能となりました。ガラス細工のような繊細な素材にまで印刷対象が広がったといいます。

「プラスチックカードやスマホケースなどにも濃厚で美しい色で印刷ができ、印刷が終了した時点でインクが乾いているので、納期の短縮にもつながりました。アクリルのキーホルダーも作れるようになり、新商品を開発することもできました」

レーザー彫刻機で作られた
オリジナルグッズの数々。